

産業建設常任委員会会議録

令和 8 年 5 月 20 日 (水曜日)

鹿 角 市 議 会

出席委員等（6名）

委員長	栗山尚記	副委員長	綱木裕一
委員	田村富男	委員	成田哲男
委員	安保真希	委員	佐藤大介

欠席委員（0名）

事務局出席職員

書記	金澤修
----	-----

説明のため出席した者の職氏名

産業部長	渡部裕之	観光戦略部長	金澤寛樹
建設部長	大森誠	農業振興課長	成田靖浩
農地林務課長	北方康博	商工振興課長	成田仁文
観光交通課長	黒沢書彦	文化財・世界遺産課長 兼 大湯ストーンサークル館長	佐藤寛
都市整備課長	佐藤智紀	上下水道課長	阿部卓也
農業委員会事務局長	山崎孝人	農業振興課主幹 兼 経営強化対策班長	齊藤美奈子
農業振興課主幹 兼 ブランド作物推進班長	小野寺裕一	農地林務課主幹 兼 農地・森林経営班長	熊谷純明
農地林務課主幹 兼 鳥獣対策班長	青山真	商工振興課主幹 兼 商工班長	石木田慎
商工振興課副主幹 兼 ゼロカーボン推進室長	高橋大	観光交通課副主幹 兼 交通政策班長	泉澤純
観光交通課主幹 兼 観光振興班長	児玉純哉	文化財・世界遺産課主幹	丸岡正則
都市整備課主幹 兼 計画管理班長	土舘広人	都市整備課主幹 兼 道路河川班長	柳舘秀人
都市整備課副主幹 兼 建築住宅班長	村木進悟	上下水道課主幹 兼 管理班長	関尚人
上下水道課主幹 兼 工務班長	目時浩英	農業委員会事務局主幹	成田小百合
農業委員会事務局副主幹	鈴木和明		

午前 10 時 00 分 開会

【開 会】

○栗山委員長 委員の出席が定足数に達しておりますので、ただいまより産業建設常任委員会を開会いたします。

【委員長挨拶】

○栗山委員長 委員長挨拶ということでございますが、季節柄、方々で総会が行われておりますが、経営者の方々とお話する機会が多いです。

世間一般で言われているとおり物価高騰、資材不足、燃料の高騰などかなり危険水域に達してきているのかなといった印象がございます。

鹿角市の予算で出来ることは限られているとは思いますが、いろんなところから相談を受ける機会がどんどん増えてくると思いますので、対処いただけるようお願いいたします。

では本題に移ってまいります。

ここで委員及び職員の皆様にお願いがございます。

会議記録作成の関係上、発言の際は委員長の許可を得た上で、お手元のマイクスイッチをオンにして赤色のランプが点灯してから発言願います。また、発言終了後はマイクスイッチをお切り下さいますようご協力お願いいたします。

なお、委員長の許可がない発言につきましては、会議記録上、不規則発言として記載されることになりますので、徹底していただきますようお願いいたします。

それでは、会議次第に従いまして進めてまいります。

【職員紹介】

○栗山委員長 初めに、本日の会議は今年度に入って初めての委員会となります。執行部職員の皆さんについて異動もございましたので、自己紹介をお願いしたいと思います。

それでは、産業部長より順にお願いいたします。

○渡部産業部長 産業部長の渡部裕之です。引き続きよろしくお願いいたします。

○成田農業振興課長 農業振興課長の成田靖浩です。引き続きよろしくお願いいたします。

○北方農地林務課長 農地林務課長の北方です。引き続きよろしくお願いいたします。

○成田商工振興課長 商工振興課長の成田仁文です。どうぞよろしくお願いいたします。

○金澤観光戦略部長 観光戦略部長の金澤寛樹です。どうぞよろしくお願いいたします。

○黒沢観光交通課長 観光交通課長の黒沢書彦です。よろしくお願いいたします。

○佐藤文化財・世界遺産課長 兼 大湯ストーンサークル館長 文化財・世界遺産課長 兼 大湯スト

ーンサークル館長の佐藤 寛です。よろしくお願いします。

○丸岡文化財・世界遺産課主幹 文化財・世界遺産課主幹の丸岡正則です。よろしくお願いします。

○泉澤観光交通課副主幹 兼 交通政策班長 観光交通課交通政策班長の泉澤 純です。よろしくお願いします。

○児玉観光交通課主幹 兼 観光振興班長 観光交通課観光振興班長の児玉純哉です。よろしくお願いいたします。

○石木田商工振興課主幹 兼 商工班長 商工振興課主幹 兼 商工班長の石木田です。よろしくお願いいたします。

○高橋商工振興課副主幹 兼 ゼロカーボン推進室長 商工振興課副主幹 兼 ゼロカーボン推進室長の高橋と言います。よろしくお願いします。

○熊谷農地林務課主幹 兼 農地・森林経営班長 農地林務課主幹 兼 農地・森林経営班長の熊谷と申します。よろしくお願いします。

○青山農地林務課主幹 兼 鳥獣対策班長 農地林務課主幹 兼 鳥獣対策班長の青山真と申します。よろしくお願いいたします。

○齊藤農業振興課主幹 兼 経営強化対策班長 農業振興課主幹 兼 経営強化対策班長の齊藤美奈子です。よろしくお願いいたします。

○小野寺農業振興課主幹 兼 ブランド作物推進班長 農業振興課主幹 兼 ブランド作物推進班長の小野寺です。よろしくお願いします。

○大森建設部長 建設部長の大森誠です。今年度もよろしくお願いいたします。

○佐藤都市整備課長 都市整備課長の佐藤智紀です。よろしくお願いいたします。

○阿部上下水道課長 上下水道課長の阿部卓也です。引き続きよろしくお願いします。

○関上下水道課主幹 兼 管理班長 下水道課主幹 兼 管理班長の関尚人です。よろしくお願いします。

○目時上下水道課主幹 兼 工務班長 上下水道課工務班長の目時です。よろしくお願いします。

○山崎農業委員会事務局長 農業委員会事務局長の山崎孝人です。よろしくお願いいたします。

○鈴木農業委員会事務局副主幹 農業委員会事務局副主幹の鈴木和明です。よろしくお願いします。

○成田農業委員会事務局主幹 農業委員会事務局主幹の成田小百合です。よろしくお願いします。

○村木都市整備課副主幹 兼 建築住宅班長 都市整備課副主幹 兼 建築住宅班長の村木です。よろしくお願いいたします。

○柳館都市整備課主幹 兼 道路河川班長 都市整備課主幹 兼 道路河川班長の柳館です。よろしく

お願いします。

○土館都市整備課主幹 兼 計画管理班長 都市整備課主幹 兼 計画管理班長の土館広人です。よろしく願いいたします。

○栗山委員長 以上で職員紹介を終わります。

【所管事項の報告】

○栗山委員長 次に、所管事項の報告を受けます。順次報告を受けた後、所管ごとに区切って質疑を受けてまいります。それでは順次報告願います。産業部長。

○渡部産業部長 産業部の所管事項について、ご報告いたします。

2 ページをお願いします。

農業振興課関係の1点目の「令和8年産主食用米の作付け計画状況について」であります。農林水産省の8年産米の需給見込みにつきましては、インバウンド需要が回復傾向にあるほか、政府備蓄米の買戻しが予定されている一方で、今後も国内消費の減少傾向が続くと見込まれており、今後の需給バランスの見通しが難しい状況となっております。

上段の表をご覧ください。

鹿角地域農業再生協議会では、8年産主食用米の「生産の目安」(A)を昨年を目安から57ヘクタール増の2,238ヘクタールと提示しておりますが、昨年の作付実績との比較では41ヘクタール減となっております。

これに対し、農家より提出された作付計画の面積(B)は、現段階で2,324ヘクタール、86ヘクタールの超過となっております。

農家の作付計画は、米の取引価格が2年連続で高値で推移しており、農家の増産に向けた意欲が高まっていることや、各経営体がそれぞれの経営状況や米価格等を総合的に判断した結果、昨年実績及び目安を超過したものと捉えております。

市といたしましては、今後につきましても、引き続き長期的な需給バランスに基づく情報提供を行いながら、需要に見合った生産を促してまいります。

3 ページをお願いします。

2点目の「令和8年1月21日からの大雪による農業被害状況について」であります。大雪に伴う農業関係被害については、県地域振興局とJAかづのの協力のもと、現地調査及び状況把握に努めてきたところですが、去る5月7日に県へ確定値として最終報告を行いましたので、その概要について報告いたします。

初めに、①の果樹被害についてですが、市内全域でりんご及び桃で枝折れ等の被害が認められた

ことから、地区毎に抽出した 56 園地でスポット調査を行い、樹種及び樹齢別に被害本数を取りまとめたうえで、全体の被害額の推計値を算出しております。

また、被害額の算定にあたりましては、被害程度を「被害なし、小、中、大、甚大」の 5 段階に分類し、県で被害額の算定対象となる「中程度」以上のものとしております。

作物別では、桃が 5,054 本で全体の 32.5%と被害割合が高くなっており、果樹全体では 22.9%が減収を伴う被害を受け、被害額合計は 1 億 4,469 万 7,000 円と推計しております。

②の農業用施設につきましては、パイプハウスが 67 棟で 8,340 万円、畜舎については 5 棟で、これは主に豚舎で、6,500 万円ほどとなっております。

また、格納庫等が 15 棟で 3,650 万円ほどとなっております、合計では 87 棟、1 億 8,496 万 9,000 円の被害額となっております。

①と②を合わせた農業被害としましては、3 億 2,966 万 6,000 円の被害額となっております。

被害を受けた農家等に対する支援策としましては、3 月議会最終日にパイプハウス等の復旧及び果樹農家の融雪剤散布等の補助に関する追加予算を議決いただきましたが、6 月議会におきまして果樹の復旧支援等に係る補正予算を提案する予定としておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、畜舎等の施設復旧に係る支援策につきましては、現在、県で国庫補助の活用を含め検討しているところであり、方向性が決まり次第、対象農家等に周知を図ってまいります。

4 ページをお願いします。

次に、農地林務課関係であります、「熊による人身事故防止のための入山禁止措置について」であります。令和 6 年にクマによる人身事故が発生した十和田高原地区及び令和 4 年に人身事故が発生した八幡平国道 341 号線の仙北市境界付近において、人身事故を防止するため、引き続き入山禁止措置を行っております。入山禁止期間は、十和田高原地域が 5 月 1 日から 6 月 30 日まで、八幡平仙北市境界地域は 5 月 23 日から通年としております。

5 月 9 日には、市、鹿角警察署、市猟友会、県自然保護課と連携し、山菜採りに係る入山禁止区域の周知とクマによる事故防止の啓発のため、キャンペーンを実施し、通行車両のドライバーに、禁止区域での入山禁止と熊による事故防止のチラシを配布いたしました。

このほか、十和田高原地区におきまして、鹿角警察署と連携し、入山禁止啓発パトロールを実施しております。

5 ページをお願いします。

次に、商工振興課の 1 点目、令和 7 年度「ふるさと鹿角応援寄附」の実績についてであります。当該事業につきましては、今年度の組織改編により、政策企画課から商工振興課へ所管が移管され

ております。

(1) の「寄附件数及び寄附金額」についてですが、寄附件数は 1 万 4,114 件で、前年度比 0.4% の増となった一方、寄附金額は 2 億 9,135 万 500 円で、前年度比 13.3% の減となっております。

寄附件数につきましては、アップルパイなど、比較的手軽に寄附いただける低価格帯の返礼品を充実させたことにより、増加したものと考えております。

また、寄附金額につきましては、主力返礼品である米の全国的な価格高騰の影響により、返礼品としての供給量を十分に確保できなかったことが大きく影響したものと捉えております。

(2) の「返礼品の選択状況」は、アップルパイが返礼品全体の 28.5% と最も高く、次いで、りんごが 17.3% となっております。

一方で、主力返礼品である米につきましては 13.4% と、前年度から 12.2 ポイント減少しております。

6 ページをお願いします。

(3) の「応援する取り組み」については、寄附者の皆様には、市総合計画の基本戦略・経営戦略に沿った 6 つの取組から寄附金の活用先を選択いただいております。

その中では、「1 元気で健やかな暮らしを支える取り組み」が 39.2% と最も高い割合となっております。

次に、(4) の「応援理由」については、無回答を除きますと、「5 お礼の品が魅力的だったから」が 34.7% と最も多くなっております。

7 ページをお願いします。

次に、(5) の「寄附者の居住地域」については、東京都をはじめとする関東圏からの寄附が多い状況となっております。

最後に、(6) の「寄附金額の割合」については、アップルパイなどの低価格帯返礼品を追加したことにより、2 万円以下の寄附の割合が増加しております。

また、今年 3 月からは、現地決済型ふるさと納税「ふるさと o らべる」の運用を開始しており、市内宿泊施設の利用時に寄附いただける仕組みを導入しております。これにより、新たな寄附者の獲得や交流人口の拡大につなげてまいりたいと考えております。

さらに、5 月からは、返礼品の発送にあわせて観光パンフレットを同梱しており、本市の観光や地域の魅力発信にも取り組んでおります。

今後におきましても、産業部が所管することとなったことを踏まえ、ふるさと納税を単なる寄附募集としてではなく、事業者の売上向上や地域経済の活性化につながる「地域の稼ぐ力」を高める

取組として、産業振興の視点から戦略的に推進してまいりたいと考えております。

8ページをお願いいたします。

次に、2点目の「企業立地促進条例に基づく指定事業者の指定について」であります。企業立地促進条例に定める奨励措置を適用する指定事業者として、1社を指定しております。

企業名はジョイタム株式会社で、3月31日付で指定しております。

(7)の②の増設内容につきましては、旧末広小学校を賃借し、第5工場として新設するものであり、資材管理及び電気ハーネスの既存事業の拡大のほか、新たな事業としてポータブル電源や、電動モビリティ用のバッテリー等の製造を検討しております。

増産や新規事業展開により、新たな販路の拡大など、安定的な受注確保及び受注拡大による売り上げ増加や雇用の拡大などが期待されます。

③の予定事業費は、947万7,000円、市の助成は274万円の予定で、④の操業開始は今年10月を予定しております。今回の増設により、会社の雇用計画では、増設初年度に2人、増設2年度に2人、将来的には6人の雇用増を見込んでおります。

9ページをお願いします。

次に、3点目の「トヨタ自動車株式会社元副社長河合満氏による特別講演会等の開催について」であります。トヨタの人材育成や改善の考え方を学ぶとともに、高校生との対話や本市が進めている再生可能エネルギーの取組を組み合わせることで、「人づくり」と「産業づくり」を一体的に進め、若者に選ばれる地域づくりを加速させることを目的として、鹿角工業振興会と市との共催により、去る5月12日から15日までの日程で、河合満氏をお招きいたしました。

特別講演会につきましては、文化の杜交流館コモッセにおいて、「改善なきところ革新なし〜モノづくりは人づくり〜」をテーマに開催いたしました。

当日は、多くの市民をはじめ企業関係者など約450人にご参加をいただき、河合氏から、働きやすい環境のもとで日々改善を積み重ねていくトヨタ生産方式の考え方や、人材育成に対する姿勢、実践事例などをご紹介いただきました。

また、講演会に先立ち実施した鹿角高校生との意見交換会では、「総合的な探究の時間」における研究成果を題材に、生徒たちと対話を行っていただきました。

さらに、本市が有する豊富な再生可能エネルギー資源の一つとして、田代平ウインドファームのEV車載用電池を活用した蓄電池システムの実証実験をご視察いただいたほか、株式会社かつのパワーによる電力の地産地消の取組について紹介し、世界的企業の視点からご助言をいただいたところであります。

今後は、今回築いた関係性を生かしながら、若者に選ばれる企業・地域づくりの推進や、次代を担う人材の育成、さらには再生可能エネルギーを活かした地域価値の向上を図り、持続可能なまちづくりにつなげてまいります。

以上で、産業部の報告を終わります。

○栗山委員長 観光戦略部長。

○金澤観光戦略部長 引き続き、観光戦略部の所管事項についてご報告いたします。

初めに、観光交通課関係の1点目、「ゴールデンウィークの観光客入込状況について」ですが、昨年と比較して、観光施設の入り込みは104.1%、宿泊施設につきましては102.8%といずれも増加しました。

今年は、特に5月前半に、雨天・強風といった天候不順や、アスピーテラインが通行止めになった日もありましたが、全体的には八幡平エリアへの入り込みが増加し、また、市内2か所の道の駅で、鹿角の食や特産品を生かした家族連れで楽しめるイベントが開催されたことで、周遊性が図られ、入り込み数の増加につながったものと捉えております。

次に、2点目の「十和田八幡平国立公園指定記念事業について」ですが、今年は十和田八幡平国立公園の指定を受けてから、十和田八甲田地域が90周年、八幡平地域が70周年の節目の年を迎えております。

市ではこの節目の年を契機として誘客を図るため、記念事業として、記念ロゴマークの作成、及び十和田八幡平国立公園指定9070キャンペーンを展開しております。

まず、記念ロゴマークについてですが、お示ししておりますとおり、唯一、十和田湖と八幡平に囲まれた本市ならではのオリジナルロゴマークとなっております。

このロゴマークは、十和田八幡平両エリアの魅力の普及啓発や、観光PRを目的とし、どなたでも無償で利用できることとしております。市のホームページに掲載して周知しており、多くの場面でご活用いただくことで盛り上げを図りたいと考えております。

次に、十和田八幡平国立公園指定9070キャンペーンについてですが、市内の宿泊施設で宿泊等に利用可能なクーポン券を、第1弾と第2弾の2回に分けて、9,000セット発行するものです。

このうち、第1弾は5,000セット、1人当たり最大2セットを上限に発行します。申込方法は、専用のウェブサイト、もしくはファックスでの受け付けとしております。応募期間は今月15日から31日まで、申し込み多数の場合は、抽選となります。

第1弾のクーポン券の利用期間は、6月20日から9月30日の宿泊分までとしており、市ホームページやDMO等を通じて市内外へ積極的に周知を図っております。

次のページをお願いします。

次に、文化財・世界遺産課関係の「鹿角市文化財デジタルアーカイブの公開について」であります。

地域の貴重な歴史・文化を後世に継承するため、歴史資料等のデジタル化、およびオンライン上で閲覧できる仕組みの構築を進めてきたところではありますが、4月1日からホームページにおいて鹿角市デジタルアーカイブを公開いたしました。

現在、デジタルアーカイブでは、昨年度にデジタル化した鹿角市史のほか、大湯環状列石上空の360度パノラマ画像や、史跡尾去沢鉱山坑道内のバーチャルツアーなどが閲覧できます。

今年度は、鹿角市先人顕彰館の収蔵品や、社会科副読本「わたしたちの鹿角市」などのデジタル化に取り組むこととしており、引き続き、コンテンツの拡充に努めてまいります。

以上で、観光戦略部の報告を終わります。

○栗山委員長 建設部長。

○大森建設部長 引き続き、建設部の所管事項についてご報告いたします。

資料は12ページをお願いいたします。

都市整備課関係の令和7年度除雪費用についてであります。執行額は7億4,733万5,198円で、前年度比約10%増となりました。

昨シーズンの累計降雪量は557cmとなっており、令和6年度とほぼ同じ積雪量でありましたが、次のページのグラフをご覧いただきたいと思いますが、積雪深80cmを超えている期間が1月中旬頃から2月上旬まで続き、1月の降雪による通常の除雪作業のほか、排雪作業の頻度が上がったため、前年度よりも委託料が増額となったものと捉えております。

以上で、建設部の報告を終わります。

○栗山委員長 農業委員会事務局長。

○山崎農業委員会委員長 続きまして、農業委員会からご報告申し上げます。

資料の14ページをご覧ください。

農地中間管理事業についてであります。この事業は、農用地利用の効率化と高度化を促進することを目的に国で定められ、本県では平成26年度から秋田県農業公社が各農家から農地を借り受け、その農地を担い手等に転貸する制度となっております。

この農地の出し手と受け手のマッチングや、契約等の窓口業務につきましては、鹿角市農業農村支援機構が秋田県農業公社より業務を受託し、農業委員会事務局が兼務する形で事業を進めております。

事業実績につきましては、資料に記載のとおり、令和7年度における中間管理事業を活用した農地の貸付面積は、田・畑を合わせまして165ヘクタール、平成26年度からの累計貸付面積は1,008.5ヘクタールとなり、市の農地全体の16.8%となっております。

令和7年度は令和6年度に比べ80.4ヘクタール増加しておりますが、大きな要因といたしましては、農地の貸し借りの事務手続きについて、これまでの農業経営基盤強化促進法による利用権設定が廃止となり、従来の農地法第3条と農地中間管理事業のみとなったことから本事業の活用が増加したものです。

今年度の見込みといたしましては、昨年度と同様に、利用権設定から本事業に切り替える方の増加等により、昨年度と同規模の活用を見込んでおります。

農業委員会からの所管事項の報告は以上です。

○栗山委員長 所管事項の報告が終わりましたので、これより質疑を受けます。

初めに、農業振興課関係について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。佐藤委員。

○佐藤委員 令和8年産主食用米の作付け計画状況を見ると、鹿角市は昨年の作付実績や生産の目安に対して増えたことが分かりました。ここ2年ほど米価が高かった影響もあるとの説明もございました。

国全体としてどういう状況なのか、数字はまとまっていますか。

○栗山委員長 農業振興課主幹。

○小野寺農業振興課主幹 兼 ブランド作物推進班長 まだ全体の計画数値はまとまっておりませんが、やはり米価が高く推移していることで、作付したいという意向が多いという話は伺っております。

○栗山委員長 佐藤委員。

○佐藤委員 米余りの状況下で米価が下がるだろうという状況の中で、さらに作付が増えて生産量が増えましたという状況になれば、さらに米価は下がるだろうと考えられますので確認しました。

○栗山委員長 ほかにございませんか。綱木副委員長。

○綱木副委員長 生産の目安に対して作付計画が上回っているということで、需給に見合った形で促していくと説明を受けました。私は畑作専門なので、ここら辺の感覚がよく分からないのですが、具体的にどういった形で農家に促しをかけていくのですか。

○栗山委員長 農業振興課主幹。

○小野寺農業振興課主幹 兼 ブランド作物推進班長 作付の促し方につきましては、今年度の作付計画については農家の方で既に決めていることなので大きく動かしていくことは出来ませんけれ

ども、米の値段等を見定めながらと国の備蓄用米の在庫量の関係もありますので、主食用米で販売が難しい部分については加工用米や新規需要米に向けていくなど呼びかけていく形になります。

現時点で国・県のほうでも放出した備蓄用米の買戻し等を今後計画されているので、どれくらいの数量になるか確定していないところですので、こちら辺も見定めながら今後農家のほうに情報提供していきたいと考えております。

○栗山委員長 綱木副委員長。

○綱木副委員長 何年前だったか忘れたのですが、飼料用米に補助が厚くなって、飼料用米のほうに農家が結構流れていったのですけれども、翌年度だったかすぐに補助が外されて、はしごを外されてしまったようなことを聞いた時期がありまして、農家が抱えている人材や資産、経営判断の部分がある中で、そういう促し方というのは持続可能なのかなと個人的には思っていたのですけれども、例えば枝豆ですとか他にもいろいろ作物はあると思うのですが、水稻ではない方向に経営を促していく考え方はないものなのでしょうか。

○栗山委員長 農業振興課長。

○成田農業振興課長 米の作付につきましては、目安ということで示してはおりますけれども、販売先が多様化しておりますので、集荷事業者だけではなくて商社や直接販売など、それぞれの経営体によって様々な販売先がありますので、目安としては示してはおりますけれども、農家が独自にどのくらい作付していくべきかというのは、価格等も予測しながら判断しているものと考えております。

実際に令和5年以降ずっと生産目標を超える実績となっておりますので、農家のほうで主体的に考えられて動いておられるかなと思います。

飼料用米につきましては、交付金等の措置がありますけれども、近年は米価が上がっておりますので、飼料用米ではなくて主食用米のほうで計画されているということで、飼料用米のほうが減っておりますが、やはり米余りということも予測されておまして、飼料用米の需要が足りないこともありますので、そういった点も踏まえまして、各経営体のほうでいろいろ判断をした上で、飼料用米の作付か主食用米の作付かを判断していくものと考えております。

また、令和9年度から水田政策が大きく見直されることになっておまして、そういったものも影響してくるのかなと思っておりますが、まだ具体的に国のほうでどういうふうにすると示されておきませんので、こういったことも注視しながら、必要な情報提供をしてみたいと考えております。

○栗山委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○栗山委員長 ないようですので、次に、農地林務課関係について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○栗山委員長 ないようですので、次に、商工振興課関係について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。佐藤委員。

○佐藤委員 今年度からふるさと鹿角応援寄附が商工振興課に移管されたということで、慣れない部分もあろうかと思いますがお聞きします。

産業建設常任委員会で議論する内容としては、納税部分も確かに主眼にあるのですが、返礼品でどれだけ売上があったかという数値があってもいいのではと思いましたので、表記の仕方を工夫してはどうかと提案いたします。

○栗山委員長 ほかにございませんか。安保委員。

○安保委員 ふるさと鹿角応援寄附の（４）の応援理由で「お礼の品が魅力的だったから」が伸びていて非常に喜ばしいと思いますが、（１）の「鹿角市がふるさと（出身地）だから」が減っているというのが残念だなと思いました。

市外在住の鹿角出身者からの寄附金額の減少については、何か分析されているところはあるのでしょうか。

それから、市が出身者に向けた情報発信、出身者コミュニティの連携について具体的に何か取り組んでいるものがあるかお伺いします。

○栗山委員長 商工振興課主幹。

○石木田商工振興課主幹 兼 商工班長 応援理由の中の「出身地だから」という部分の分析につきましては、恐縮なのですが、商工振興課に担当が移管されてきたということで、今後、分析をしていきたいと考えております。

市内出身者への情報発信につきましては、昨年度は、鹿角家U25の方々や、都内でのイベントの際にはふるさと納税のチラシ等を配付してPRしていると伺っております。

○栗山委員長 佐藤委員。

○佐藤委員 企業立地促進条例の指定事業者の指定について、ジョイタム株式会社の件です。

旧末広小学校で働く方は何人おられるのでしょうか。

令和８年１０月からの操業開始に合わせて、旧小学校が改修されて始まりますということでしょうか。

○栗山委員長 商工振興課主幹。

○石木田商工振興課主幹 兼 商工班長 さきほど部長からも報告させていただいたのですが、操業開始につきましては、(7) の④の増設操業開始時期ということで10月を予定としておるところです。

従業員につきましては、同社の他工場との兼ね合いで現状の雇用者と、新たに将来計画では6人増加する予定にしております、どういう配置になるかは現時点では分からないところです。

○栗山委員長 佐藤委員。

○佐藤委員 どうか上手く進めていただければと思います。よろしくお願いします。

○栗山委員長 ほかにございませんか。佐藤委員。

○佐藤委員 もう1点伺います。

10 ページですが、トヨタ自動車株式会社元副社長の河合氏とともに再生可能エネルギー施設の視察を行ったとのことですが、部長の説明からは再生可能エネルギーの件でトヨタと連携したいという思いもあるのだろうなということで、河合氏からはご助言いただいたと説明がありましたが、助言いただいた内容について教えてください。

○栗山委員長 商工振興課長。

○成田商工振興課長 今回の視察につきましては、地域資源を産業振興や地域価値の向上につなげていくために世界的企業であるトヨタの河合様からご助言いただきたいということと、本市のポテンシャルをトヨタに認知していただきたいという思いから、行ったものになります。

河合様からは、再生可能エネルギーを単につくるだけでなく、運ぶ・使うが重要だという話をいただいております、その中で地熱発電の活用というようなこともお話をいただきましたが、本市の場合、地熱発電が特徴的なエネルギーになっておりますので、その中で水素の活用についても可能性があるのではないかというご助言をいただいているところであります。

○栗山委員長 ほかにございませんか。綱木副委員長。

○綱木副委員長 同じくトヨタ自動車の河合元副社長の件になりますが、私も特別講演に参加しまして、やはりトヨタは半端ないなと率直に思いました。

ロボットだったり、AIだったり、人が作業を投げる部分に関しても突き詰めて考え抜いて改善を貫いていくという姿勢がさすがだなと思いました。

主催をされた工業振興会や商工会の方が会場にたくさんいらしたのを拝見しましたが、その方々の感想はどうだったのか。事後アンケートを取ったのか、今後取る予定なのか、その点はいかがでしょうか。

○栗山委員長 商工振興課主幹。

○石木田商工振興課主幹 兼 商工班長 講演会の感想のアンケートにつきましては、当日のプログラムの表面にQRコードを載せておりまして、そこでアンケートの依頼をしているところです。

現在取りまとめ中でございますので、まとまりましたらお知らせできるかなと思っております。

○栗山委員長 商工振興課長。

○成田商工振興課長 参加された企業の方々からのお話をお伺いしたところでは、世界的な企業であるトヨタであっても、日々改善を加えていっているところに感銘を受けましたということで話を受けております。

また、AIやDXを進めるに当たっても人がどれくらいインプットできるかによって、出来上がりが全然違うというところで、人づくりがどうしても重要だということを改めて認識してもらったと考えております。

○栗山委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○栗山委員長 ないようですので、次に、観光交通課関係について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。佐藤委員。

○佐藤委員 ゴールデンウィークの観光客入込状況について、例年よりも多かったことは喜ばしいと思いました。構成的に国外客も増えてきているとのことでしたが、国外客がメインになってきている状況なのでしょうか。

○栗山委員長 観光交通課主幹。

○児玉観光交通課主幹 兼 観光振興班長 さきほど部長が説明した入込客の宿泊関係ですけれども、入込客の約1～2%が宿泊人数ということで取りまとめております。ゴールデンウィークに限らず4月以降、団体客としてインバウンドが入ってきておりますけれども、逆に最近はゴールデンウィークを避けるような対応も見えてきておりますので、今回ご報告したゴールデンウィークに限って言いますと約2%の宿泊人数という状況となっております。

○栗山委員長 佐藤委員。

○佐藤委員 増加している状況なのですか。それとも平日に流れてきて少し減っている状況なのでしょうか。

○栗山委員長 観光交通課主幹。

○児玉観光交通課主幹 兼 観光振興班長 全体の宿泊人数はそうなんですが、例えばピンポイントで八幡平山頂の見返り峠付近であれば個人のインバウンド客は増加傾向にあります。やはり雪というコンテンツでの旅行プランを各旅行会社もいろいろ出しているようで、それで増えてきていると

伺っております。人数までは把握していないということですが、見た目で見ますと増えてきていると。
特にアジア圏のみならず、欧米やインドの方も来られているとは聞いております。

○栗山委員長 佐藤委員。

○佐藤委員 県もインバウンドに力を入れているようですし、連携しながら上手くやっていただければと思います。

もう一つ続けてよろしいでしょうか。

十和田八幡平国立公園指定記念事業についてですけれども、鹿角市は頑張っているなあと思ってはいるのですけれども、他市町村と連携してやっている部分はありますか。

○栗山委員長 観光交通課主幹。

○児玉観光交通課主幹 兼 観光振興班長 今回こちらにお示しした内容につきましては、鹿角市独自の内容となっております。八幡平国立公園の岩手側につきましては、鹿角市と同様にロゴマークの作成、そのほかイベント事業としてフォーラムの開催などを実施するとお聞きしております。

十和田湖地区につきましては、小坂町が道の駅を利用したイベントなどがあるということで報告を受けております。

○栗山委員長 佐藤委員。

○佐藤委員 せっかく90年70年の節目の年ですので連携しながら進めていければ力強い事業運営が出来ると思いますので、頑張ってもらえればと思います。

○栗山委員長 ほかにございませんか。安保委員。

○安保委員 駅前の観光案内所とあんたらあにレンタサイクルが昨日まで配備されなかったことをお伺いしたのですが、ゴールデンウィーク中の繁忙期にお客様が使えないという状況であったとの話なのですけれども、配備が遅れた理由を教えてください。

○栗山委員長 観光交通課主幹。

○児玉観光交通課主幹 兼 観光振興班長 安保委員のお話、我々も聞いておりました。

今年は雪解けが遅かったこともありまして、こちらも毎年自転車自体の点検を業者をお願いしているものの、3月4月が通学される児童生徒の関係で事業者とのやり取りが遅れたということで、我々の点検業務の依頼が遅くなった部分はあります。

今週から配置出来ておりますので、今後は利用できることとなっております。

○栗山委員長 安保委員。

○安保委員 データを見ますと毎月一定数の利用者がいるようなので、やはりお客様もホームページとかいろいろ調べて来ているようなので、こちらに来た際にがっかりしないような流れを作れば

いいなと思いましたので、質問させていただきました。

○栗山委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○栗山委員長 ないようですので、次に、文化財・世界遺産課関係について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。佐藤委員。

○佐藤委員 文化財・世界遺産課の事業ですけれども、産業建設常任委員会に移管されて初めてのことでと思いますので、どうか頑張っていただければという思いで質問させていただきます。

この文化財デジタルアーカイブの公開についての状況なのですが、このアーカイブ自体が目的ではないでしょうから、そこから上手く集客につなげる、観光につなげていく視点でよろしいですね。念のため確認いたします。

○栗山委員長 文化財・世界遺産課主幹。

○丸岡文化財・世界遺産課主幹 今年度事業としまして先人顕彰館の収蔵品の部分、それから教育委員会の所管となりますが小学校 3 年生が使用しております社会科副読本のデジタル化並びにこちらが観光との連携になりますが文化財周遊デジタルマップを作成したいということで考えております。

観光との連携という部分で 4 月にDMOとこちらの部分について連携していくという話合いをしております。システムの問題もありますが、どう使い勝手を上げていくかという部分を含めまして、小学校の社会科副読本もですけれども、どう使っていただけるかという部分について今年度業者のほうとも構築を進めてまいりたいと考えております。

○栗山委員長 佐藤委員。

○佐藤委員 産業部に来てなかなかなじみが感覚的に違う部分があるかと思いますが、ぜひ上手く連携して行って下さればと思います。

○栗山委員長 ほかにございませんか。綱木副委員長。

○綱木副委員長 このデジタルアーカイブ、私もいろいろ調べて初めて知ったのですが、沖縄の首里城やノートルダム大聖堂が火災になった際にこのデジタルアーカイブの 3D データを基に復元をしていくことが出来たとニュースを見まして、今のところ書籍のアーカイブを進めていらっしゃるのかなとお見受けしたのでけれども、例えば今後建造物などのアーカイブをする予定はあるものか、その際に 3D データとして保存する予定が決まっていることがあれば教えていただければありがたいです。

○栗山委員長 文化財・世界遺産課主幹。

○丸岡文化財・世界遺産課主幹 建造物につきましては、市の指定文化財について順次進めたいと考えております。また、昨年度は史跡尾去沢鉱山の坑道内のアーカイブをさせていただいておりまして、一般公開中止というタイミングもございましたので、4月以降につきましてはそちらのサイトから鉱山案内が出来るようにはしております。

そのほか昨年度は、大湯ストーンサークル館もアーカイブしておりますけれども、ノートルダム大聖堂等に比べるとそこまでのアーカイブの精度は難しいかも知れませんが、例えば石鳥谷の渡部家の地図等も含めまして、一般公開できない文化財も数多くございますので、そういうふうなものについても順次進めたいと考えております。

○栗山委員長 文化財・世界遺産課長。

○佐藤文化財・世界遺産課長 兼 大湯ストーンサークル館長 いま質問のございました3Dデータにつきましては、ストーンサークルの石の3Dデータの三次元測量を行うこととしておりますので、そういった点でも進めていきたいと考えております。

○栗山委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○栗山委員長 ないようですので、次に、都市整備課関係について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。成田委員。

○成田委員 質問ではないのですが、今年雪が多かったせいか、市道から田んぼとかに雪を押ししているのけれども、田んぼの畦畔が壊されて困っているという声がありましたので、来年からは是非業者さんと打合せしていただければと思っています。

○栗山委員長 都市整備課主幹。

○柳館都市整備課主幹 兼 道路河川班長 田んぼの除雪で畦畔を壊された件ですけれども、そういうお話がありましたらこちらのほうに通報いただければ、業者の方になおしてもらえるよう指示を出せるようにはしておきますので、そういう事案がございましたら連絡をお願いいたします。

○栗山委員長 成田委員。

○成田委員 それは分かりましたけれども、いずれも分かった時点で田んぼの畦畔を塗る時期になっているので、それは特別必要なかったのですけれども、いずれそういう打合せをお願いしたいという声でしたので、それをお願いいたします。

○栗山委員長 ほかにございませんか。田村委員。

○田村委員 除雪の件ですけれども、排雪場所、古川橋の下流側左岸にしていますが、あそこの国道からの出入りが狭くて、今年は特に雪が多かったから渋滞が発生してあったんです。花輪方面から

も久保田に行かないで古川橋に来ている業者もいてあったものですから、特に渋滞していたと思うけれども、道路を拡幅する訳にはいかないと思うので、排雪場所をもう1か所どこか増やすことは出来ないものでしょうか。

○栗山委員長 都市整備課主幹。

○柳館都市整備課主幹 兼 道路河川班長 排雪場所については、県から河川占用の許可を受けなければならず、ハードルが高い面がございますので、現状のままで行きたいと思いますし、道路の幅の件ですが河川敷方向へ広げるのも県の許可がなかなか下りませんのでハード面では厳しいところがあるので、ソフト面で工夫していきたいと考えております。

○栗山委員長 田村委員。

○田村委員 一方通行方式にすれば変わってくると思うけれども、浜田から入って捨てて出ていくと。そうでなければ出入りが非常に厳しいものだから、国道なのでかなり渋滞してあったので、そのたびに文句を言われても、自分もなんともしようがないから、その辺も考えながら何とかお願いします。瀬田石のほうにいっぱい捨てにきてもいいから。よろしくお願いします。

○栗山委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○栗山委員長 ないようですので、次に、農業委員会事務局関係について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○栗山委員長 ないようですので、所管事項の報告についてはこれで終わります。

【案 件】 (1) 付託事件の審査について

○栗山委員長 次に案件に入り、(1)付託事件の審査を行います。

当委員会に閉会中の審査事件として付託されております「農林業及び観光・商工業の振興について」と「都市施設の整備について」を議題といたします。

初めに、「農林業及び観光・商工業の振興について」、委員の皆様から、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。

なお、観光戦略部に関わる事務・事業について、質疑・ご意見等がございましたら、ここで発言願います。綱木副委員長。

○綱木副委員長 鳥獣被害対策のことで質問します。

今年は熊もさることながら、イノシシや鹿もよく見受けられるようになりました。担当のほうにもいろいろ連絡は入っているかとは思いますが、イノシシや鹿はどういった形で対応されているの

か教えていただけますでしょうか。

○栗山委員長 農地林務課主幹。

○青山農地林務課主幹 兼 鳥獣対策班長 イノシシに関しましては、5月15日現在で4月の目撃件数が12件、5月に入ってからが5件、計17件となっております。年々目撃件数が増加しております。昨年では4月5月で9件だったのに比べればほぼ2倍の推移となっております。こちらも目撃に合わせて捕獲を試みております。箱わながイノシシ用に市内で4か所設置しており、そのほか、くくりわなを設置しているエリアが2か所ございます。なかなかくくりわなでの捕獲の効率が上がらないというか、イノシシも低密度で用心深い行動をするために、なかなか捕獲に結び付かないという状況が続いていますので、もう5年くらいになりますけれども、猟友会の方々に箱わな、くくりわなの使用方法を勉強していただいて、イノシシの習性についても勉強していただきながら、捕獲の効率を上げる努力をしている状況です。

○栗山委員長 綱木副委員長。

○綱木副委員長 ちなみにイノシシの好きなもの、誘引物としてこういったものを設置しているのですか。

○栗山委員長 農地林務課主幹。

○青山農地林務課主幹 兼 鳥獣対策班長 イノシシの箱罟の誘引ですけれども、現在は米ぬかを使用しております。

4月中の被害といいますか、掘り返しの場所を顧みますと、草原、草の根を掘り返して、草の根と中に含まれている昆虫の幼虫などを食べているのではないかと思います。掘り返しがどの草をねらっているのか等のデータ分析は出来ておりません。

農地でも作付をしているところ、作物がそばにあるにも関わらず草の根を掘り返したりもしております。

例年ですけれども、これから時期が経ちますと例えば畑の芋類、ジャガイモ、サツマイモとか土の中で大きくなるでんぷん質のものと好んで寄っていくようであるというところがございます。

○栗山委員長 綱木副委員長。

○綱木副委員長 私が住んでいるところもイノシシがかなり出てきていまして、熊と違って逃げないんですよ。ほんと5メートルの距離まで軽トラックで近づいていっても逃げないんです。その近距離で爆竹を鳴らしてようやく逃げるみたいな。

全国的な事例を見ていると、攻撃性が高く、人の太腿の動脈を噛んで死亡例につながるというこ

ともあるようなので、農作物への被害もさることながら、けっこう警戒を上げていかないといけないあと個人的には思っているところです。ぜひ猟友会の方々にスキルアップしていただいて、有効な手段を確立していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○栗山委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○栗山委員長 ないようですので、次に「都市施設の整備について」、委員の皆様から、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○栗山委員長 ないようですので、付託事件の審査については、今後においても継続審査すべきこととし、本日の閉会中審査事件の審査は終了いたします。

【案 件】 (2)その他

○栗山委員長 次に、(2)その他に入ります。

初めに当局より説明願います。農業振興課長。

○成田農業振興課長 6月定例会提出予定議案について、ご説明いたします。

共通資料1、議案目録(案)をご覧ください。

⑧から次のページ⑳までの「農業委員の任命について」であります。現在の農業委員13名の任期が7月31日で満了となることから、新たに任命するものです。

農業振興課関係は以上です。

○栗山委員長 上下水道課長。

○阿部上下水道課長 続きまして、上下水道課関係についてご説明いたします。

資料2 ページの㉔「鹿角市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について」であります。下水道事業において、宅地開発等に伴う区域の一部追加等により、都市計画法並びに下水道法の規定に基づき、県知事の変更認可を受けたことから、処理区域面積等を変更するものです。

説明は以上です。

○栗山委員長 農業振興課長。

○成田農業振興課長 続きまして、6月定例会提出補正予算の概要についてご説明いたします。

共通資料2をご覧ください。

No.8、令和7年度雪害対策緊急支援事業5,993万5,000円は、雪害を受けた果樹農家に対し、果樹の補植・改植及び樹体補修等、樹園地の復旧に係る費用を助成するとともに、樹勢が回復するまでの支援措置として、薬剤購入費用を助成するものです。

樹園地復旧支援は、県との協調補助で補助率 4 分の 3、薬剤購入費助成は市の単独事業で、対象経費の 15%を助成いたします。

No. 9、新規就農者育成支援事業 476 万 6,000 円は、就農後の経営発展のために機械・施設等の導入を支援するもので、キュウリ用のハウス及び井戸、果樹用の高所作業車の導入に対し交付いたします。

No. 10、農地利用効率化等支援事業費補助金 4,022 万 1,000 円は、地域計画の中心経営体として位置づけられている農業経営体に対し、機械等の導入費用を助成するもので、7 経営体に対し助成いたします。

補助率 10 分の 3 以内、補助上限額は個人 1,500 万円、法人 3,000 万円で、財源は全額国庫補助となります。

No. 11、畜産施設管理費 814 万円は、大雪の影響により、肥育牛舎・堆肥舎・飼料庫の軒先及びサッシ等が破損したことから改修するものです。

なお、雪害のため保険が適用となり、工事費の 2 分の 1 が補填される予定です。

農業振興課関係は以上です。

○栗山委員長 商工振興課長。

○成田商工振興課長 No.12、企業立地促進事業の助成金 457 万円は、事業高度化支援として新たな設備導入を支援するもので、今年 1 月と 2 月に指定を行い、3 月から稼働を開始した 2 件分を増額するものです。

No.13、商工施設管理費の 187 万円は、大雪の影響により、鹿角市定期市場の雁木軒先が破断したことから補修工事をするものです。なお、雪害のため保険が適用となり、工事費の 2 分の 1 が補填される予定です。

商工振興課関係は以上です。

○栗山委員長 観光交流課長。

○黒澤観光交通課長 引き続き、観光交通課関係ですが、No.14、観光総務事務費 217 万 7,000 円は、観光戦略部の執務室をかつの観光物産公社内に設置したことに伴い、光熱水費のほか、照明器具の増設工事やキャビネットの追加購入を行うものです。

No.15、地域公共交通維持確保対策事業 710 万 2,000 千円は、昨年 10 月より運行を開始した八幡平地区におけるデマンド型乗合タクシーについて、新たに住民ドライバーの導入を検討するとともに、引き続き、十和田地区におきましても将来的な地域交通の再編に向けた検討基盤を構築するため、ワークショップや勉強会などの取り組みを国の補助事業を活用して実施するものです。

観光交通課関係は以上です。

○栗山委員長 都市整備課長。

○佐藤都市整備課長 続いて、都市整備課関係ですが、No.16、道路橋りょう維持管理費の道路補修工事費 4,000 万円の増額は、市内全域におきまして冬期間で著しく劣化が進んだ舗装路面等を計画的に補修するため補正するものです。

No.17、住宅管理費の住宅補修工事費 171 万 6,000 円の追加は、新堀住宅において屋根に雪止めを設置するほか、落雪により破損した転落防止柵を補修するため補正するものです。

補正予算の概要については以上です。

○栗山委員長 説明が終わりました。今後定例会中の委員会もごございますので、説明のみとさせていただきますと思いますが、どうしても今回確認したい点がございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○栗山委員長 ほかに、当局及び委員の皆さんから何かありましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○栗山委員長 ないようですので、その他についてはこれで終わります。

【閉 会】

○栗山委員長 以上をもちまして、本日予定しておりました事項の協議は全て終了いたしました。

当局におかれましては、ただいま出された要望、意見等について十分に検討され、それぞれ措置願いたいと思います。

それでは、ただいまの時刻をもちまして産業建設常任委員会を閉会いたします。

大変お疲れ様でした。

午前 11 時 12 分 閉会